

第六十六條 前四條ノ規定ハ地方食糧營團ニ之ヲ準用ス但シ第六十三條中農林大臣トアルハ地方長官トス別記

$$P = \frac{P_{23}P_{11} - P_{12}P_{21}(r_1)}{P_{11}P_{22} - (P_{12}P_{21})^2} + \frac{P_{12}(r_1) - P_{11}P_{21}}{P_{11}P_{22} - (P_{12}P_{21})^2}$$

Y ハ物價參酌値ノ算定セラルル年度(年度トハ米穀年度又ハ麥年度トス以下同ジ)ニ於ケル米價率又ハ麥價率ノ趨勢値

X ハ明治三十四年度ヲ第一次トシ物價參酌値ノ算定セラルル年度ノ前年度ニ至ル各年度ノ年次ヲ表ス

數
Y ハ明治三十四年度ヨリ物價參酌値ノ算定セラルル年度ノ前年度ニ至ル各年度ニ於ケル米價率又ハ麥價率

ハ明治三十四年度ヨリ物價參酌値ノ算定セラルル年度ノ前年度ニ至ル年度ノ數
X ハ明治三十四年度ヨリ物價參酌値ノ算定セラルル年度ニ至ル年度ノ數

〔參照〕

昭和八年^{十一月}農林省令第二十四號ハ農業倉庫業法第十五條ノ規定ニ依ル命令ノ件、同九年^{十二月}同第三十號ハ凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律施行規則、同十一年^{九月}同第二十六號ハ米穀自治管理法第五十一條ノ規定ニ依ル地指定ノ件、同十^{三月}同第二十九號ハ米穀商統制組合ノ總會ニ關スル件、同十^{一月}同第三十四號ハ米穀自治管理法施行令第二十一條ノ再保管ニ關スル件、同十五年^{四月}同第十九號ハ臨時穀物等ノ移出統制ニ關スル件、同十九^日同第一百五號ハ農業倉庫業第十五條ノ規定ニ

依ル命令ノ件及同十四年^{八月二日}農林省令第八號ハ米穀ノ最高販賣價格ニ關スル件ナリ

食糧管理法樺太適用特例の公布

食糧管理法の一部施行に伴ひ同法樺太適用特例の勅令は昭和十七年六月二十四日付官報を以て左の如く公布せられた。

食糧管理法樺太適用特例

(昭和十七年六月二十四日 勅令第五百九十三號)

第一條 食糧管理法第三條(米穀、大麥、稗麥又ハ小麥ノ略稱ニ關スル部分ヲ除ク)、第四條乃至第八條

第十一條第三項、第三十五條第一號第二號及第五十二條並ニ第五十一條ニ於テ準用スル同法第四十八條

第二項第三項ノ規定ハ之ヲ樺太ニ適用セズ

食糧管理法第三十二條第一項、第三十三條及第三十七條ノ規定ハ同法第三條及第八條ノ規定ニ關係アル範圍内ニ於テ之ヲ樺太ニ適用セズ

食糧管理法第十一條第二項中政府ニ賣渡スベシトアルハ樺太ニ設立セラルル地方食糧營團(以下樺太食糧營團ト稱ス)ニ賣渡スベシトス

第二條 食糧管理法施行令第二條乃至第十一條、第十六條、第十七條、第十九條第一項、第二十三條、第二十四條、第二十七條、第二十九條、第三十九條、第四十條及第四十三條ノ規定ハ之ヲ樺太ニ適用セズ

食糧管理法施行令第十二條第一項第三項及第十八條第一項中農林大臣トアリ同令第十九條第二項第三項、第二十條第一項及第四十一條中地方長官トアルハ樺太廳長官トシ同令第十四條第一號中内地トアル

ハ樺太トス

第三條 主要食糧ノ生産者又ハ土地ニ付權利ヲ有シ小作料トシテ之ヲ受クル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ生産シ又ハ小作料トシテ受ケタル主要食糧ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノヲ販賣組合ニ賣渡シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スベシ

販賣組合前項ノ規定ニ依リ主要食糧ヲ買受ケ又ハ販賣ノ委託ヲ受ケタルトキハ其ノ主要食糧ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノヲ販賣組合聯合會ニ賣渡シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スベシ

前二項ノ場合ニ於テ樺太廳長官ハ販賣組合又ハ販賣組合聯合會ニ對シ主要食糧ノ買受又ハ販賣ノ委託ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

販賣組合聯合會第二項ノ規定ニ依リ主要食糧ヲ買受ケ又ハ販賣ノ委託ヲ受ケタルトキハ其ノ主要食糧ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノヲ樺太食糧營團ニ賣渡スベシ

第四條 精米若ハ精麥ノ設備又ハ小麥粉ノ製造ノ設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲サントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ樺太廳長官ノ許可ヲ受クベシ

第五條 食糧管理法第十一條第一項ノ規定ニ依ル許可ハ樺太廳長官之ヲ行フ

前項ノ許可ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ之ヲ受クルコトヲ要セズ

一 樺太食糧營團ガ米麥ヲ輸出若ハ移出シ又ハ輸入若ハ移入スルトキ

二 船用品タル米麥又ハ命令ヲ以テ定ムル旅客ノ携帶品タル米麥、標本米麥其ノ他之ニ準ズベキモノヲ輸出若ハ移出シ又ハ輸入若ハ移入スルトキ

第六條 米麥以外ノ主要食糧ノ輸出又ハ移出ハ命令ヲ

以テ指定スル期間中太監長官ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 米麥以外ノ主要食糧ヲ輸入又ハ移入シタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ輸入又ハ移入シタル米麥以外ノ主要食糧ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノヲ樺太食糧營團ニ賣渡スベシ

第八條 左ニ掲グル事項ハ食糧管理法施行令第十九條ノ規定ニ拘ラズ拓務大臣農林大臣ニ協議シテ之ヲ行フ

一 食糧管理法第十五條第三項ノ規定ニ依リ樺太ニ於ケル從タル事務所ノ設置ヲ認可スルコト

二 食糧管理法第二十條ノ規定ニ依リ樺太ニ於ケル業務ニ關シ主要食糧ノ配給上必要ナル事業ヲ行フベキコトヲ命ジ其ノ他公益上必要ナル命令ヲ爲スコト

三 食糧管理法第二十一條第一項ノ規定ニ依リ樺太ニ於ケル業務ニ關シ倉荷證券ノ發行ヲ許可スルコト

四 食糧管理法第二十三條第一項ノ規定ニ依リ樺太ニ於ケル業務ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトヲ認可スルコト

五 食糧管理法第二十三條第二項ノ規定ニ依リ前號ノ認可ニ係ル指示ニ從フベキコトヲ命ズルコト

六 食糧管理法第三十條ニ於テ準用スル農地開發法第三十九條ノ規定ニ依リ樺太ニ於ケル業務ニ關シ報告ヲ爲サシメ、検査ヲ爲シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコト

附則

第九條 本令ハ昭和十七年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
第十條 第一條第三項中樺太ニ設立セラルル地方食糧營團(以下樺太食糧營團ト稱ス)トアリ第三條第四項、第五條第二項第一號及第七條中樺太食糧營團トアルハ樺太食糧營團成立ノ日迄ハ樺太糧穀株式會社トス

第十一條 食糧管理法第五十一條ニ於テ準用スル同法第四十七條第二項ノ規定ニ依リ解散ヲ命ズルコトヲ得ル法人ハ樺太糧穀株式會社トス

食糧管理法朝鮮施行令は昭和十七年六月二十七日付官報を以て左の如く公布された。

食糧管理法朝鮮施行令の公布

食糧管理法朝鮮施行令
(昭和十七年六月二十六日 勅令第五百九十七號)

食糧管理法朝鮮施行令

(昭和十七年六月二十六日 勅令第五百九十七號)

第一條 食糧管理法第二條、第十一條第一項第四項、第十二條、第三十二條第一項第二號及同條第二項ノ規定並ニ同法第三條第一項中米穀、大麥、稗麥又ハ小麥ノ略稱ニ關スル規定ハ之ヲ朝鮮ニ施行ス

食糧管理法第三十三條及第三十七條ノ規定ハ同法第十一條第一項第四項ノ規定ニ關係アル範圍内ニ於テ、同法第四十五條ノ規定ハ米穀統制法及米穀自治管理法ノ廢止ニ關係アル範圍内ニ於テ之ヲ朝鮮ニ施行ス

第二條 食糧管理法施行令第十六條乃至第十八條、第十九條第一項及第二十四條ノ規定ハ之ヲ朝鮮ニ適用セズ

第三條 食糧管理法第十一條第一項ノ規定ニ依ル許可ハ朝鮮總督之ヲ行フ

前項ノ許可ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ之ヲ受クルコトヲ要セズ
一 朝鮮總督ノ指定スル者ガ米麥ヲ輸出若ハ移出又ハ輸入若ハ移入スルトキ
二 船用品タル米麥又ハ命令ヲ以テ定ムル旅客ノ携帶品タル米麥、標本米麥其ノ他之ニ準ズベキモノヲ輸出若ハ移出シ又ハ輸入若ハ移入スルトキ
第四條 米麥以外ノ主要食糧ニシテ朝鮮總督ノ指定スルモノノ輸出若ハ移出又ハ輸入若ハ移入ハ朝鮮總督ノ指定スル期間其ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 食糧管理法第十一條第一項ノ規定ニ依ル許可ハ朝鮮總督之ヲ行フ

前項ノ許可ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ之ヲ受クルコトヲ要セズ
一 朝鮮總督ノ指定スル者ガ米麥ヲ輸出若ハ移出又ハ輸入若ハ移入スルトキ
二 船用品タル米麥又ハ命令ヲ以テ定ムル旅客ノ携帶品タル米麥、標本米麥其ノ他之ニ準ズベキモノヲ輸出若ハ移出シ又ハ輸入若ハ移入スルトキ
第四條 米麥以外ノ主要食糧ニシテ朝鮮總督ノ指定スルモノノ輸出若ハ移出又ハ輸入若ハ移入ハ朝鮮總督ノ指定スル期間其ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

附則
本令ハ昭和十七年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

食糧管理法臺灣施行令の公布
食糧管理法臺灣施行令は昭和十七年六月二十七日付官報を以て左の如く公布された。

食糧管理法臺灣施行令

食糧管理法臺灣施行令
(昭和十七年六月二十六日 勅令第五百九十九號)

食糧管理法臺灣施行令

(昭和十七年六月二十六日 勅令第五百九十九號)

第一條 食糧管理法第二條及第十二條ノ規定、同法第三條第一項中米穀、大麥、稗麥又ハ小麥ノ略稱ニ關スル規定並ニ同法第十一條第一項第四項中輸出及輸入ニ關スル規定ハ之ヲ臺灣ニ施行ス

食糧管理法第三十二條第一項第二號、同條第二項、第三十三條及第三十七條ノ規定ハ前項ノ規定ニ係ル

第三十三條及第三十七條ノ規定ハ前項ノ規定ニ係ル

第三十三條及第三十七條ノ規定ハ前項ノ規定ニ係ル

第三十三條及第三十七條ノ規定ハ前項ノ規定ニ係ル